

市長と語る会(H29. 2. 6市役所北庁舎)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
1	<p>昨年児童福祉法が改正になり、母子健康包括支援センターを設置することになり、埼玉県和光市で母子包括支援センターが最初に設置された。同市では、母子手帳の受取時から面談による相談が始まっている。府中市では出生後からはタッチや子育て支援課によるサポートがあるが、和光市のように出生前からの相談があれば、特に初産の際は妊婦も安心できると思う。母子に対してケアマネジャーの保育士や保健師がつくのは良いと思う。</p>	<p>妊娠期からできる限りのサポートをするという考え方から母子健康包括支援センターができつつある。本市でも市議会で議論が始まっている。具体的に設立まではいっていないが、単に母子手帳を渡すだけではない妊娠期からのサポートの必要性を改めて感じた。</p>
2	<p>高齢者見守りネットワークのシールが地域のコンビニエンスストアに配置されると良いと思う。店舗で働く人が注意してくれて見守りいただけるのではないかと。ただし、民生委員はコンビニの軒数やどこの地域にコンビニがどのくらいあるかということがわからない。</p>	<p>コンビニエンスストアを利用される高齢者も多くなり、日々の習慣となっている方もいる。見守りでもコンビニが鍵となる可能性は高いと思う。先日、市とセブンイレブンと包括協定を結び、高齢者の見守りも行うという覚書を交わした。セブンイレブンは市内に35店舗あり、別のコンビニ店舗にも広がっていければと思う。</p>
3	<p>昔のよろず屋さんみたいなところがコンビニにはあるので、市内の様々なコンビニで見守りにより、高齢者や児童のちょっとした変化にも気づかれている店員さんは多いと思う。地域での子どもの居場所づくりとして子ども食堂を運営しているが、食材を提供してくださる方も意外と多い。自助、公助、共助のその「共助」の部分が地域の土壌としてかなりあると実感している。地域で高齢者や子ども、親子も含めて、その場に集い、顔見知りになってお互いのことを気にかけるということは可能性としてはとても大きいものでないかと感じている。</p>	<p>地域で何かをしてあげようという「共助」を行うパワーはあると思う。どの方に声かけをして、どう資源を活用していくかは難しいところだが、よいアイデアを見つけていきたい。</p>

市長と語る会(H29. 2. 6市役所北庁舎)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
4	<p>中学生の不登校の生徒数が増えているのは実感している。中学3年間で失われてしまう学力というのはとても大きいと思うので、教育センターの支援員と家庭訪問しているが、もう少し人的な配置が必要と感じている。小学生・中学生の勉強についていけない子どもたちへの支援について地域でできることがあるのではないかと考えている。</p> <p>中学校で不登校の人はたっちにつなげてと学校にお願いしている。たっちまでつながっていれば、18歳まで見てくれる。18歳過ぎたら、保健所がつながってくれると思う。家に引きこもって一歩も出られない場合で小学校、中学校と不登校で1回も出ていないという子がいた場合に、中学校を卒業するとつながりが一切切れてしまう。たっちまでつなげてあれば、子どもたちにとっていいと思う。今、そういうつながりが大切と思う。</p>	<p>やはり中学校の時期というのはすごく大事で、不登校にならないようにどうしたらいいか、家から外出できない引きこもりになってしまったときにどうすべきかということは課題と感じている。</p>
5	<p>まちの美化という点で、たばこの吸殻などのゴミのポイ捨てが多い。看板やポスターで「ポイ捨て禁止」というのを貼ってあるが、看板などがある場所に小さなゴミ箱やたばこの吸殻入れのようなものを置けないか。</p>	<p>ごみの不法投棄は、ポイ捨ても含め、非常に残念な気持ちになる。パトロールなどを福祉団体をはじめ、様々な団体にご協力をお願いしている。ゴミ袋を置いたり、灰皿という手段もあるが、今度はそれをどのように使われてしまうかということも心配になる。きれいな場所には捨てていけないと思うが、1つ2つ捨てられはじめると、ここならいいのかなと次々に気持ちが緩んでしまうこともあると思う。研究し、今後も対応を検討していきたい。</p>
6	<p>生活保護の受給世帯が増加している。一方、不正受給者が多くなっている印象も受ける。</p>	<p>生活保護の不正受給はあってはならないと思うので、厳格に調査をしなければならぬと思う。1人の職員が担当する生活保護受給者が多くなっているため、対応はしっかりと行いたい。</p>

市長と語る会(H29. 2. 6市役所北庁舎)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
7	<p>待機児童を解消するために、大きい公園に保育園などを設置できないだろうか。子どもたちの声などを迷惑に感じる方もいると思うが、全国的に待機児童が多いので、解消に少しでもつながるのではないか。</p>	<p>待機児童の解消の1つは施設をつくることだが、今は施設をつくっても保育士が足りない問題もあり、必ずしもつくった分だけ受け入れられる児童が増えるかというところ。4歳や5歳児は、保育園によっては定員に達していないが、1歳や2歳児は、1人の保育士が見る子どもの数というのが限られている。育児休業中の1歳までは自分の手元で、復職するときに保育園に預けようと思うと、1歳が狭き門になってしまう。構造的な課題もある。</p> <p>様々な対策を柔軟に考えなければならないので、企業の協力を得て育児休業の取りやすい環境をつくるといったことなど都への要望も必要と考えている。</p>
8	<p>介護で孤立する家族をどう支援するか。介護保険制度も最初はいい形で進んだが、様々な部分に費用がかかるということで、介護を個々の人でもってやらざるを得ないということになってきている。</p>	<p>介護のあり方は重要な課題。施設から地域へというように、介護保険制度も様々な変化がある。支え合うという方向をさらに見出さなければならない。</p>
9	<p>市内の小中学校への防犯カメラの新たな設置にお礼を述べたい。地域でも子どもたちの見守りを行っていると思う。</p>	<p>防犯カメラは、通学路を中心に22の小中学校の学区域に5台ずつ、計110台を設置し、2月7日から本格的に稼働する。</p>
10	<p>高齢者に関しては包括支援センターで、子どもたちについても相談窓口がしっかりしているが、その間の年代での引きこもりやニートなどの対応では相談窓口が少ない状況にある。放置された空き家やゴミ屋敷については、個人の敷地で、警察としては手が出せないということで、市が強制力を持って指導を行うことなどはできるのか。衛生面でも問題があるので、保健所に相談すべきかと思うが、居住者が心を開いてくれないという問題もある。</p>	<p>空き家をどうするかというのは、全国的な問題になっていて、市内でも約100件ほどが空き家として、放置されている状況にある。本市でも、空き家対策協議会をつくり、不動産鑑定士や建築士、司法書士、弁護士、市議会議員、消防・警察の方々がメンバーになり、どのような基準で空き家と認定して、それを持ち主とどう交渉することによって利活用ができるか。地域の方に何かの形で使ってもらうような道筋をどうつけるか。マッチングということの議論をし始めて、来年度中にはそれを確定させようと思っている。ゴミ屋敷については、持ち主が個人の財産だという場合、なかなか対応が難しいところだが、各地区の民生委員からも連絡があるようなので担当課に相談が寄せられているか確認したい。</p>

市長と語る会(H29. 2. 6市役所北庁舎)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
11	社協との連携や自治会とのかかわりなど民生委員として日々悩むことも多い。地域のつながりを持つきっかけづくりとして、各地域で防災訓練などを取り組んでいるが、広域で行う総合防災訓練は、自治会の皆さんや防災意識を持った毎回同じようなメンバーの方が参加しているので、災害を想定して地域ごとの防災訓練がよいのではと思う。	防災訓練については総合防災訓練を1つの学校でやるのではなく、平成24年から3つに分けて実施している。また、今年度から自主防災連絡会というのを、各文化センターごとにつくっている。防災については皆さん我がことのように感じていただいて、地域とのつながりが大切との認識が強い。自分たちの地域ではどうやっていくのか。他の自治会ではどんなことをやっているのかということ相互に情報交換し合うような形に持ってきている。
12	民生委員は今欠員が多く、なり手が少ないということだが、新任の方が地域の方から相談を受けたときに、まず市役所のどこの部署に相談していいのかわからない。個々の中では処理できない問題に当たったときに、どこに相談したらいいか一抹の不安がある。	地域の暮らしを支えたい、社会のために役に立ちたいと思う方は多いと思うが、公共性の非常に高い業務で、様々な専門的な知識を求められるのではと思うと積極的になれないのではないかと。ご心配の点は事務局として市の担当課である地域福祉推進課に相談いただき、内容によって関係各所の窓口が責任もって対応することになる。
13	高齢者にはたくさんの薬を処方されている人がいるが、お薬手帳がなく、どんな薬が処方されているか自身で把握されていないケースもあり、調剤薬局で情報を統括できないのかと思うことがある。名前などでこれまで処方された薬などを検索できたらと思う。医薬品についての相談員などがいれば、必要以上に処方されることがないように重複が防げるし、多くの種類の薬を飲む場合の副作用の危険もなくなる。	基本的に、医者からの指示と処方箋があって薬が出ると思うが、ご指摘の点は薬剤師会に確認する。
14	生活保護を担当する職員の一人あたりの担当件数も多くなっている。職員にかかる業務量も多く、改善が必要と思う。配属される職員は、若い世代が多く、パワフルで非常に前向きに動ける部分はいいが、市職員以外でも経験がある年配の人材を活用できないだろうか。	業務内容から市職員以外で専門的な知識を持つ方に臨時的にお願いすることもある。個人情報を取り扱うので、過去の経験というのも大切だが、公務員としての資質も大事だと思う。しかしながら、ご意見内容は、研究しようと思う。